

秋田県中学校秋季大会 横手市勢が6競技10種目を制覇

9月から12月にかけて秋田県中学校秋季大会（新人戦）が開催されました。ここでは、各種目で優勝した選手の皆さんをご紹介します。（敬称略）



軟式野球
平鹿中



相撲
男子団体
平鹿中



卓球
男子団体
横手南中
バスケットボール
女子
十文字中



陸上競技



水泳
男子200m平泳ぎ
木村 峻
(増田中)



女子共通砲丸投げ
佐々木亜里奈
(雄物川中)



女子共通砲丸投げ
佐々木 悠紗
(十文字中)



男子共通砲丸投げ
鈴木 明典
(横手清陵学院中)



女子共通4×100mリレー
横手南中

大会の上位入賞者(敬称略)
◆卓球 男子個人第3位 橋本悠希(横手南中)、女子団体2位 大雄中(横手南中)、男子団体2位 横手清陵学院中、男子複第3位 沢野遼・佐々木優(横手清陵学院中)◆相撲 個人2年の部第3位 原暁海(平鹿中)、個人1年の部第2位 齊藤匡平(平鹿中)◆柔道 男子50kg級第3位 柿崎好希(平鹿中)◆ソフトテニス 男子団体3位 平鹿中◆陸上競技 男子2年100m第2位 川崎洗也(平鹿中)、男子共通4×100mリレー 第3位 平鹿中、男子共通砲丸投げ 第3位 高橋拓斗(十文字中)、男子共通走り幅跳び 第3位 中野陽平(増田中)、男子共通砲丸投げ 第3位 高橋夢海(十文字中)、女子2年100m第3位 久米真衣子(横手南中)、女子共通100mハードル 第2位 林崎華帆(横手南中)、同第3位 後藤祐菜(十文字中)、女子共通走り高跳び 第2位 齊藤春香(平鹿中)◆水泳 男子100m自由形 第3位 守屋悠都(大森中)、男子100m平泳ぎ 第3位 木村峻(増田中)、女子800m自由形 第2位・女子400m自由形 第3位 山口さやか(横手清陵学院中)、女子100m背泳ぎ 第2位・女子200m背泳ぎ 第3位 中井かおり(横手清陵学院中)



女子1年4×100mリレー
横手南中

栄公民館に優良公民館 文部科学大臣表彰
11月18日、平成23年度優良公民館の表彰式が東京都で行われ、栄公民館が文部科学大臣表彰を受けました。地域の特色を生かした歴史ウォークなど工夫を凝らした活動が高く評価されたものです。



志保さん
佐藤志保さん
横手南中学校
(3年生)
会から感謝状が贈られました。

「税についての作文」で東北地区納税貯蓄組合連合会長賞
租税教育の一環として、全国納税貯蓄組合連合会主催の中学生の『税についての作文』コンクールで、横手南中学校の佐藤志保さんが東北地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。また、秋田県納税貯蓄組合連合会長賞には増田中学校・後藤のはらさんと十文字中学校・小松竜大さんがそれぞれ受賞。十文字中学校に全国納税貯蓄連合



花子さん
岡田花子さん
横手南中学校
(3年生)
えが響き嬉しうと話してくれました。

全日本中学校英語弁論大会特別賞
11月26日、高円宮杯第63回全日本中学校英語弁論大会が東京都で開催され、横手南中学校の岡田花子さんが、全国の予選を勝ち抜いた27人中7位までの入賞に次ぐ、特別賞を受賞しました。『よりよい癌医療を望んで』と題し発表した岡田さんは「みんなの心に私の訴

首都圏の電車に中づり広告掲載

ふるさと納税を活用し、横手市をPR

12月17日から19日の3日間、山手線など首都圏を走る4路線の電車2,700車両に、中づり広告を掲載し、横手市を宣伝しました。
この広告は、平成22年度中に横手市に寄せられた「ふるさと納税」のうち、使い道を市長に一任された皆さんの善意によって実施できたものです。
デザインは、横手市出身の漫画家・矢口高雄さんをお願いし、矢口氏原作の釣りキチ三平に登場する「三平のじっちゃん」と東日本大震災の復興を願う応援メッセージなどが描かれています。
JR東日本によると、中づり広告を掲載した4路線の利用者数は、1日平均1,200万人。首都圏にお住まいの方だけでなく、観光などで東京を訪れた多くの方々に横手市を知っていただく絶好の機会となりました。
また、これにあわせ、県のアンテナショップ『あきた美彩館』や池袋駅で、宿泊割引応募用紙がついた横手市の観光PRのチラシ配布をしたり、都内の大型スーパーで、昨年の大雪による果樹被害で大幅に収量が減少したりんごの試食販売を行ったりし、観光客の誘客と、りんごの応援活動も行いました。



全国ふる里ふれあいショップ『とれたて村』に参加

横手市直売所が首都圏へ進出

東京都板橋区のハッピーロード大山商店街にある、地域の特産品を販売する『とれたて村』に横手市が参加することが決まり、12月20日、ハッピーロード大山商店街振興組合との間で、覚書の締結が行われました。
市では、定期的に農産物や加工品などの市内特産品を首都圏で販売・PRすることで、販路の拡大を目指してきました。6月に県外の常設直売所1号店が仙台にオープンし、それに続く県外出店になります。
『とれたて村』は、東武東上線大山駅から徒歩3分で、1日当たり約2万人が訪れる大山商店街の中心部に立地。売場面積は約60平方メートルで、特産品を販売・PRするために全国から13の自治体が出店しています。市では、ここに直売所(平鹿)とほほえみ直売所(雄物川)の2店舗を出店します。
11月30日の参加記念フェアの様子

新鮮な青果物や加工品などを店内で提供していきます。
契約期間は、12月1日からの3年間。11月30日には、横手市の参加を記念して、同商店街のイベント広場で『フルーツ王国の大収穫祭』と題しフェアが開催されました。
秋田紅あかりやふじなどりんご、洋梨のル・レクチェ、さらになすの花ずしや白菜の漬物などを販売し、多くの買い物客でにぎわいました。首都圏在住の横手市ふるさと会の皆さんも会場を訪れ、生産者の思いのこもった品を手にし、ふるさとを懐かしむ光景も見られました。
今回の首都圏への進出は、特産品の販路拡大にとどまらず、情報交流の拠点として横手市の『食と農』の魅力を、広く全国へ発信する足がかりとなることが期待されます。



横手市の特産品が並ぶ『とれたて村』の店内